

2008 第1回東大本番レベル模試 優秀答案

第2問 B (東京都S君の答案)

B 泰盛の改革では、**将軍の権威を高めてその経済基盤を確保し**、**非御家人の幕府への取り込みを図る**など、**幕府権力の強化が目指された**がしかし、**それは同時に執権もしくは得宗の私的な家臣であることを権勢の基盤とする御内人の反発にあって**、改革は挫折した。

R

$2+2+2+3+R2=11$ **9点**

コメント

設問Bは、たとえてみれば数学の問題で**補助線が一本消されたタイプの問題**だった。「安達泰盛の政治改革が失敗に終わった理由」を説明するためには、政治過程における敵対者の側(泰盛を滅ぼした側＝御内人)にも目を向けなければならない。指摘されれば当然のことになってしまうだろうが、この点にまで言及できた答案はごくわずかだった。

ここに示した答案例は、この最大のポイントを見事に突破している。問題の条件を一部隠すという出題手法は、東大でしばしばみられるものなので、本問の復習をとおして、そうした場合の**思考回路の働かせ方**をしっかりと学びとろうと努めてほしい。設定があいまいだからといって、解答まで不明朗でよいというわけではないからである。